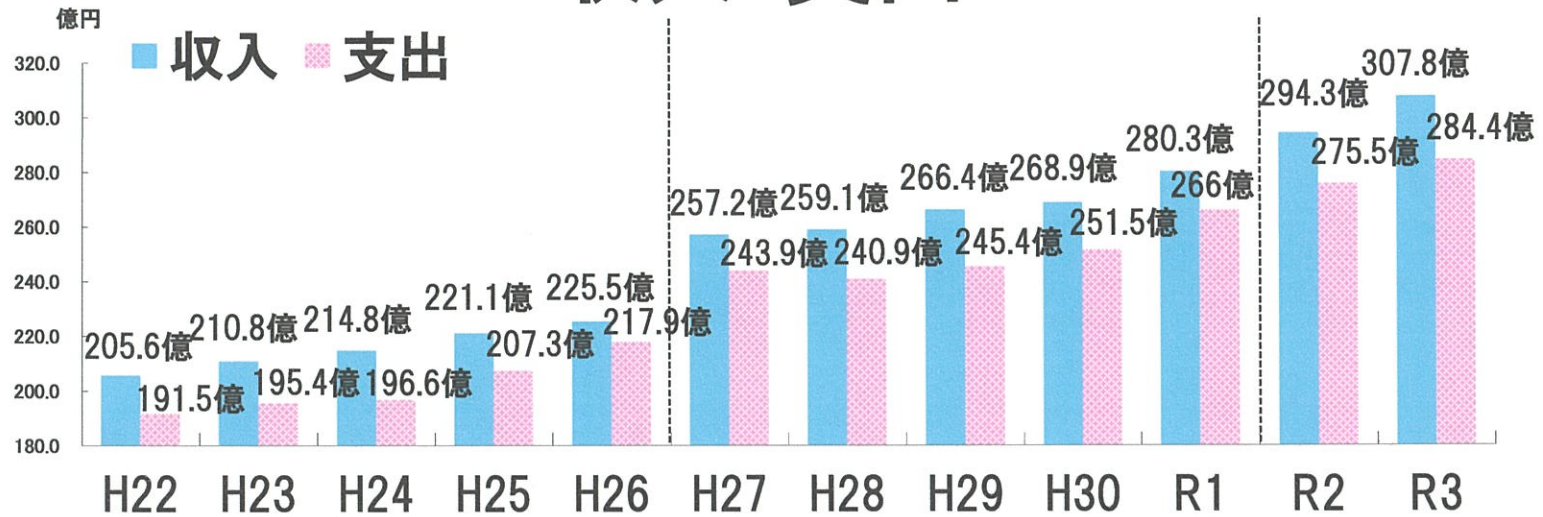
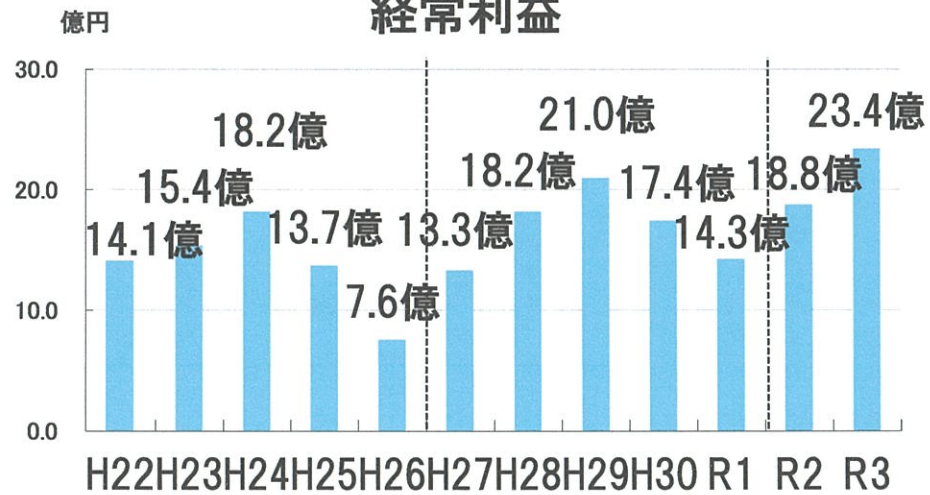


令和4年度 上半期の実績

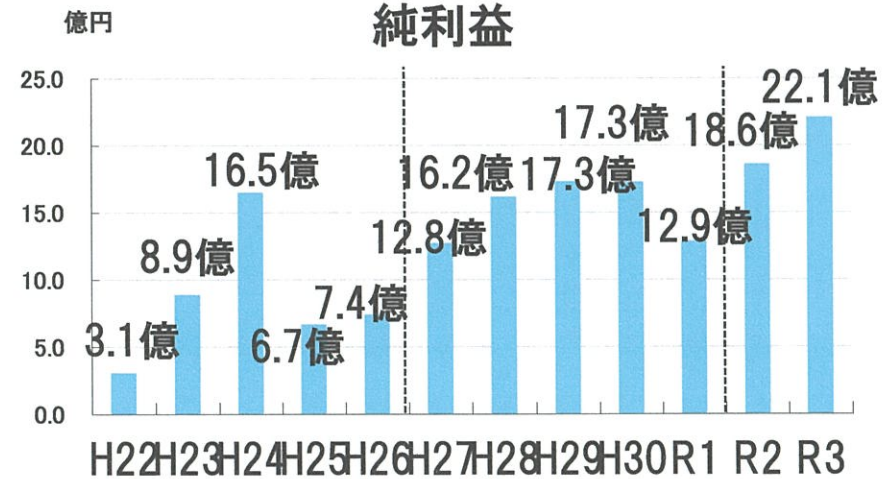
収入・支出



経常利益



純利益



八県立病院機構 比較

(令和3年度)

機構(病院数)	病床数	総収益 (億円)	外来患者数	新規入院数
大阪 (5)	2,639 (×3.17) (②一般1,291、がんC①500、 ①精神473、①小児375)	1,051 (×3.41)	988,197 (×2.72)	54,462 (×3.69)
神奈川 (5)	1,703 (×2.05) (①一般296、①精神323 ①小児430、①がんC415 ①循環器239)	657 (×2.13)	655,091 (×1.80)	28,196 (×1.91)
静岡 (3)	1,271 (×1.53) (①一般712、①精神280、 ①小児279)	504 (×1.64)	613,423 (×1.69)	22,017 (×1.49)
長野 (5)	931 (×1.12) (③一般602、①精神129、 ①小児200)	260 (×0.84)	398,435 (×1.10)	11,710 (×0.79)
山梨 (2)	832 (1.00) (一般644、精神188)	308 (1.00)	363,054 (1.00)	14,765 (1.00)
山口 (2)	684 (×0.82) (一般504、精神180)	204 (×0.66)	229,822 (×0.63)	10,321 (×0.70)
宮城 (2)	641 (×0.77) (①がん383、①精神258)	158 (×0.51)	118,994 (×0.33)	6,376 (×0.43)
秋田 (2)	484 (×0.58) (①脳神・循環184、①精神 300)	107 (×0.35)	38,348 (×0.11)	2,870 (×0.19)

経営分析比較

(令和3年度)

	医業収支比率		経常収支比率		実質経常収支比率		給与費比率		減価償却比率		繰入金比率	
1	山梨	95.8%	山梨	108.2%	大阪	98.1%	山梨	46.8%	山梨	7.4%	大阪	7.7%
2	大阪	90.0%	大阪	106.3%	山梨	97.0%	大阪	51.6%	宮城	8.5%	山口	9.5%
3	山口	86.8%	神奈川	105.0%	山口	93.6%	神奈川	54.9%	静岡	8.9%	山梨	10.4%
4	静岡	84.6%	宮城	103.5%	神奈川	90.8%	静岡	57.5%	神奈川	9.0%	神奈川	13.4%
5	神奈川	83.8%	山口	103.4%	静岡	88.7%	宮城	61.7%	山口	9.7%	静岡	13.6%
6	宮城	81.1%	長野	103.1%	宮城	86.1%	山口	62.4%	大阪	10.2%	宮城	16.8%
7	長野	76.3%	静岡	102.7%	長野	83.2%	長野	79.5%	長野	12.1%	長野	19.3%
8	秋田	55.6%	秋田	99.3%	秋田	69.0%	秋田	106.4%	秋田	29.0%	秋田	30.5%

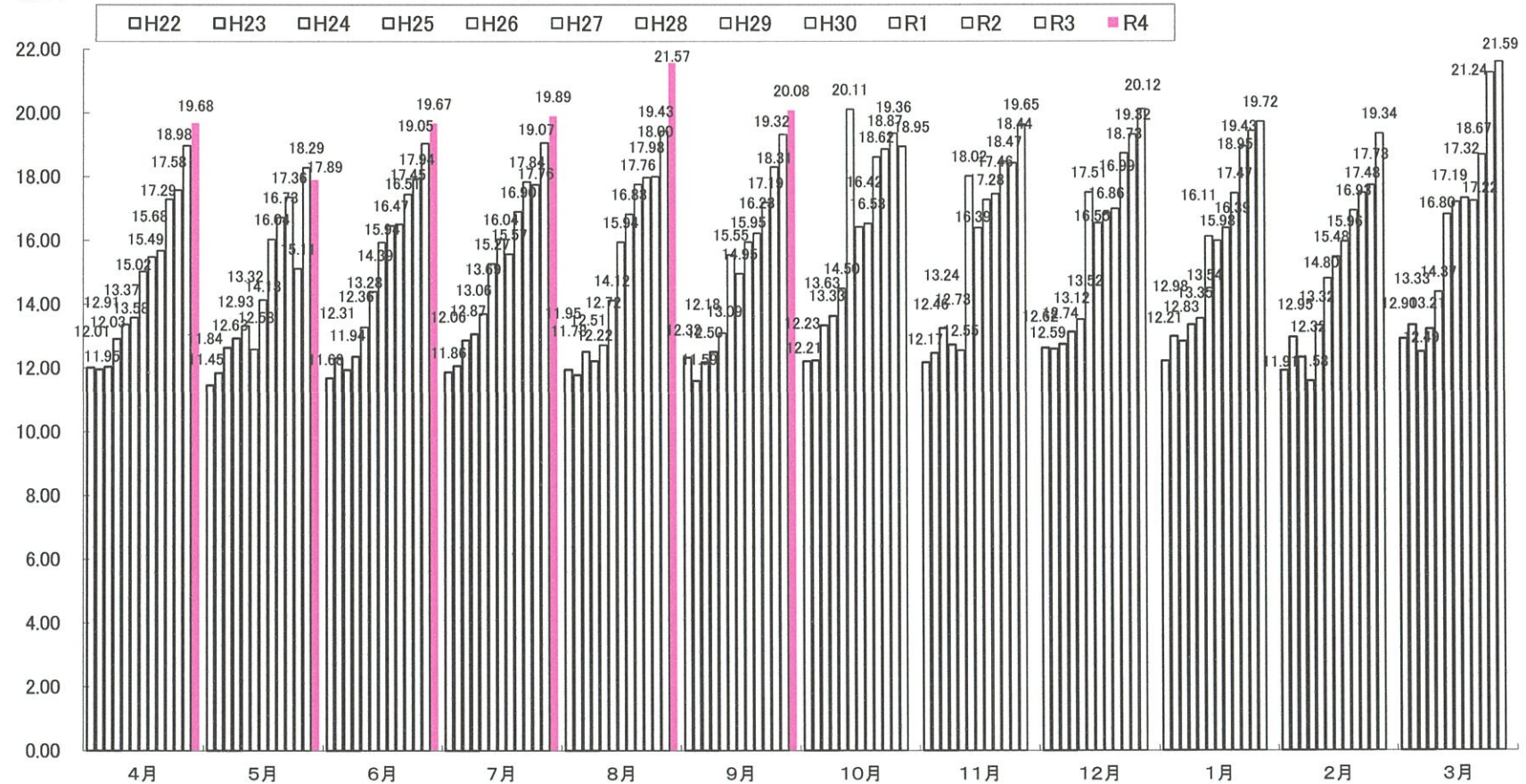
医業収支比率
 経常収支比率
 実質経常収支比率
 給与費比率
 減価償却比率
 繰入金比率

: (入院+外来+その他医業収入) / 医業費用(減価償却含む)
 : 経常収入(繰入金含む) / 経常費用
 : 経常収入(繰入金除く) / 経常費用
 : 給与費 / 医業収益
 : 減価償却費 / 医業収益
 : 繰入金 / 経常収入

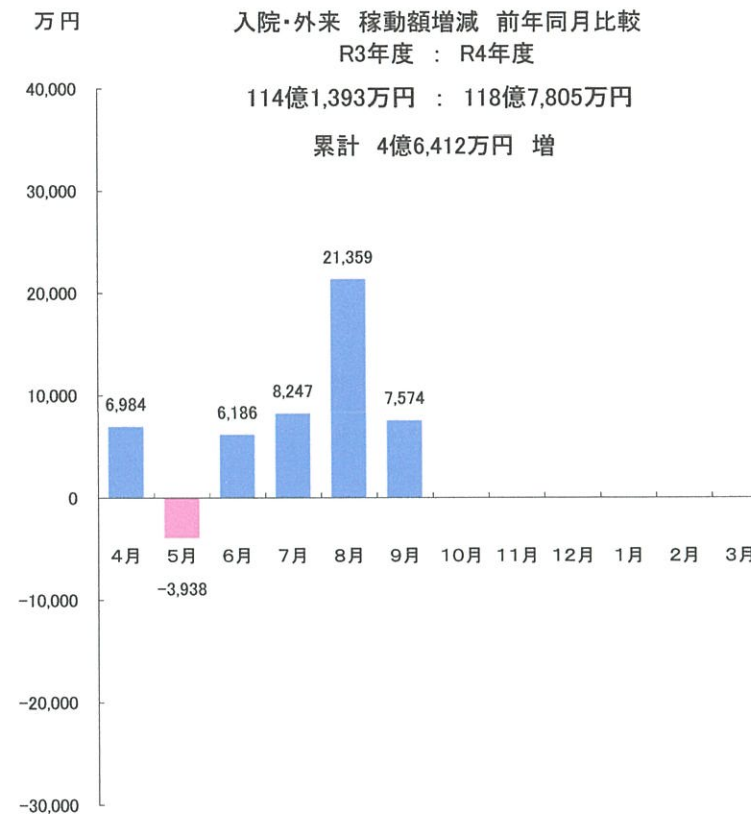
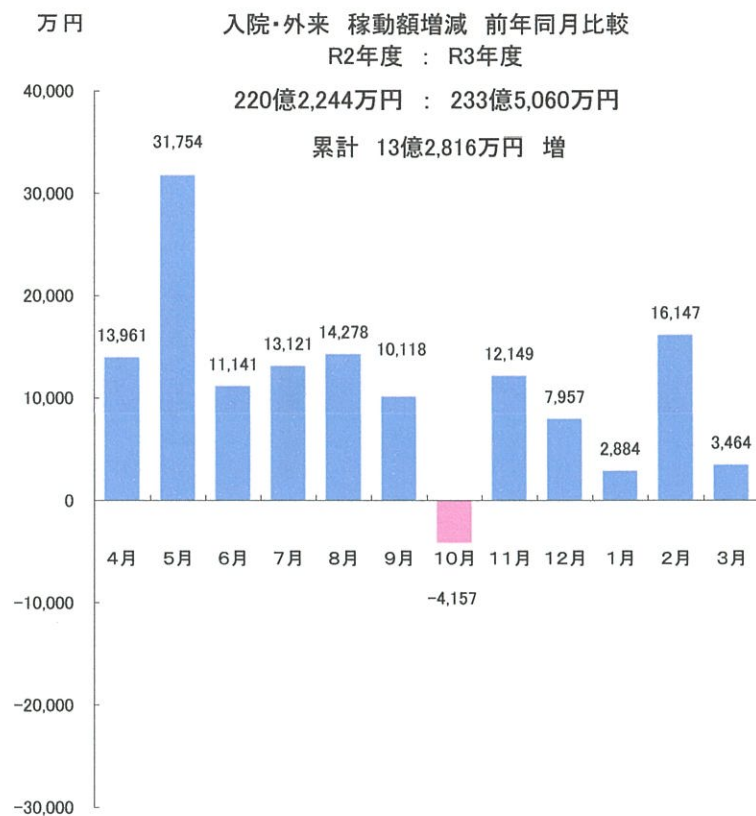
2022/10/26 企画経理 小佐野

中央病院 全科 入院・外来 稼動額比較(除くその他医業)

億円 H22年度・H23年度・H24年度・H25年度・H26年度・H27年度・H28年度・H29年度・H30年度・R1年度・R2年度・R3年度・R4年度

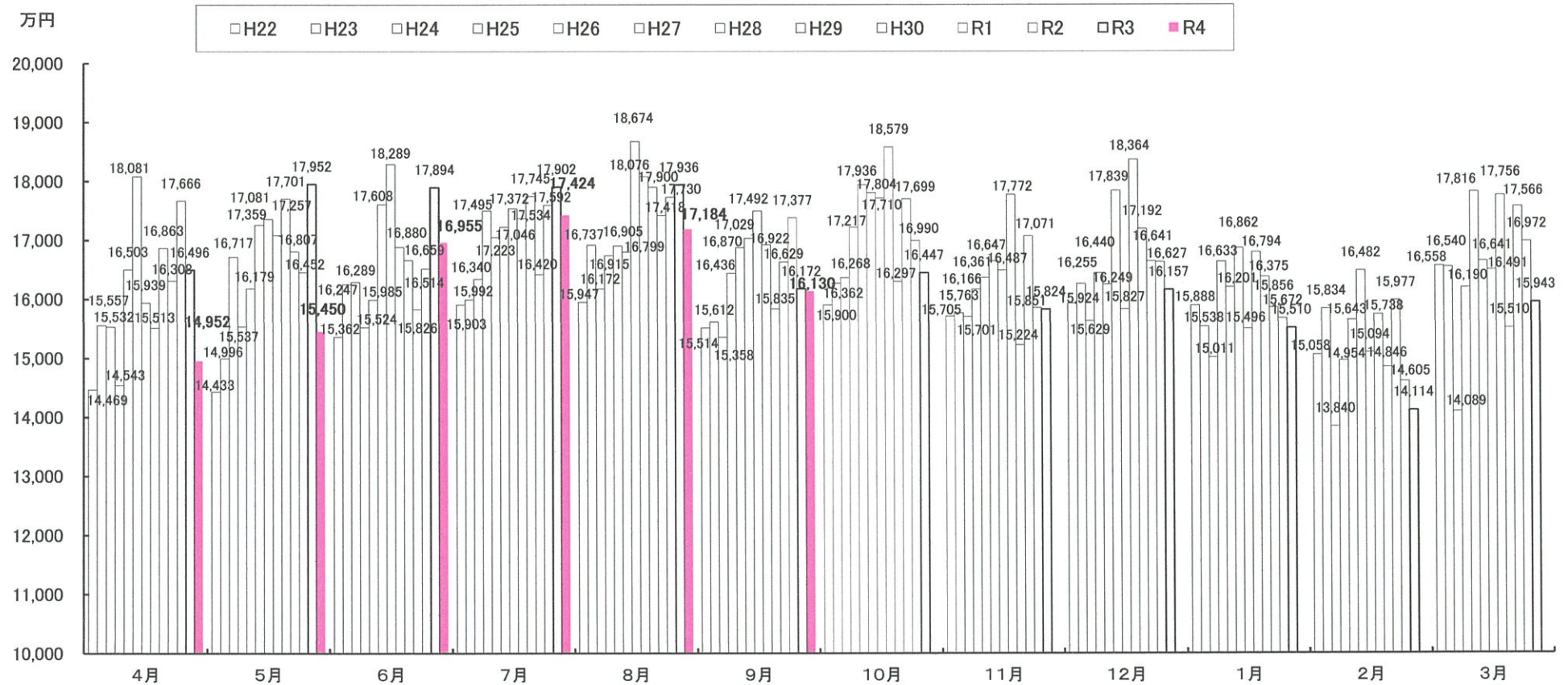


中央病院 入院・外来稼働額増減

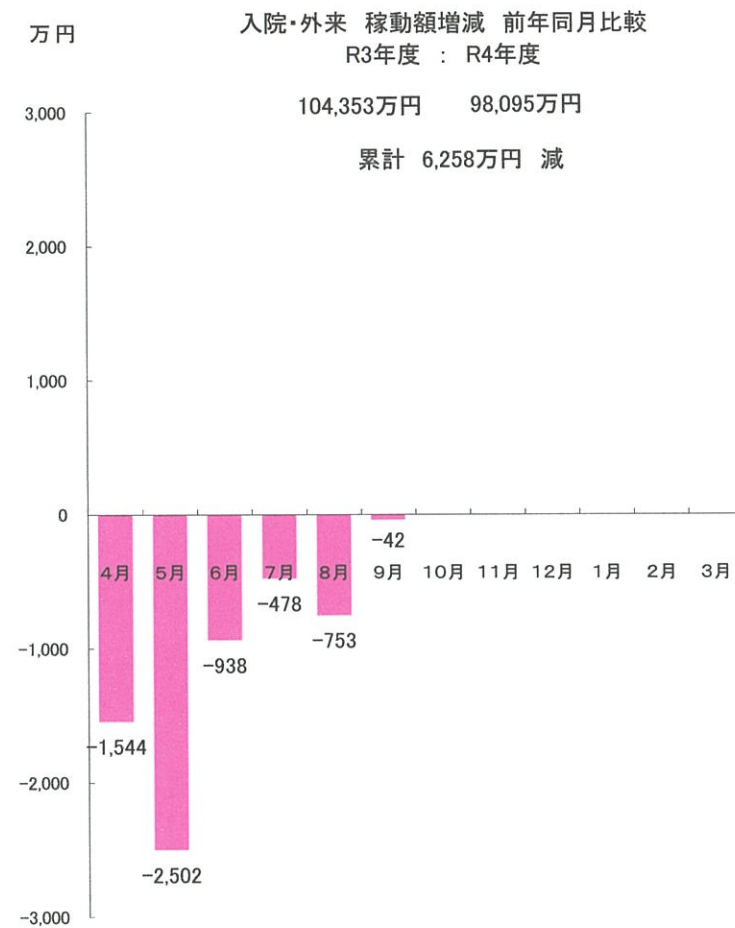
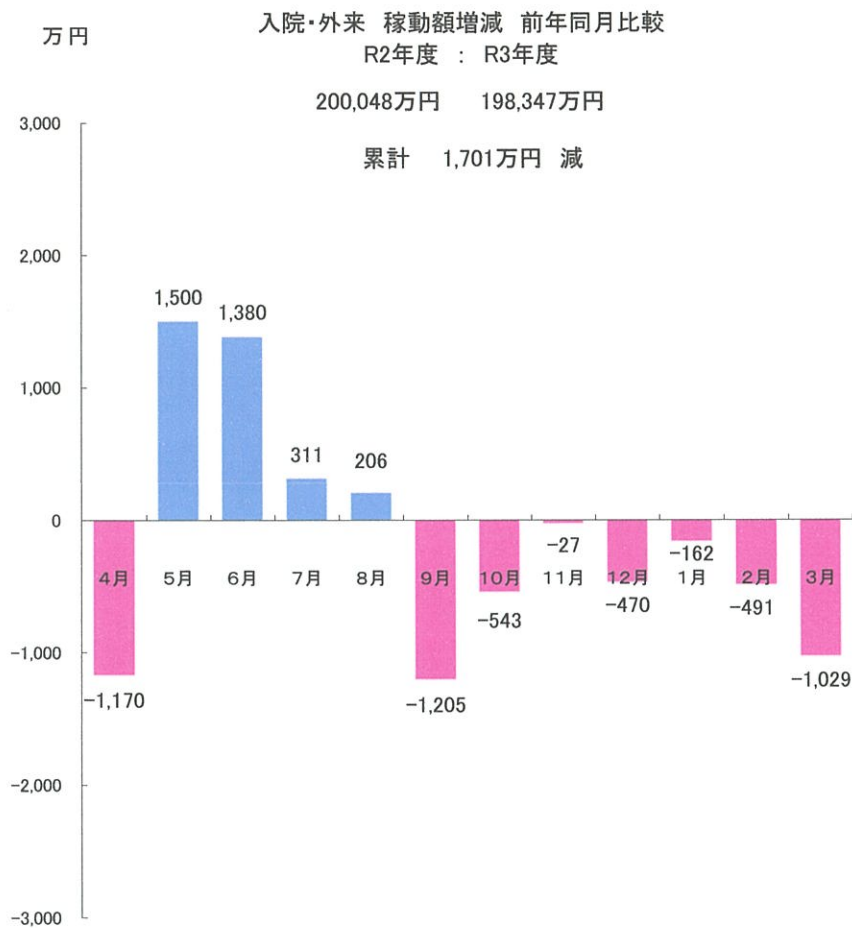


北病院 入院・外来 稼動額比較(除くその他医業)

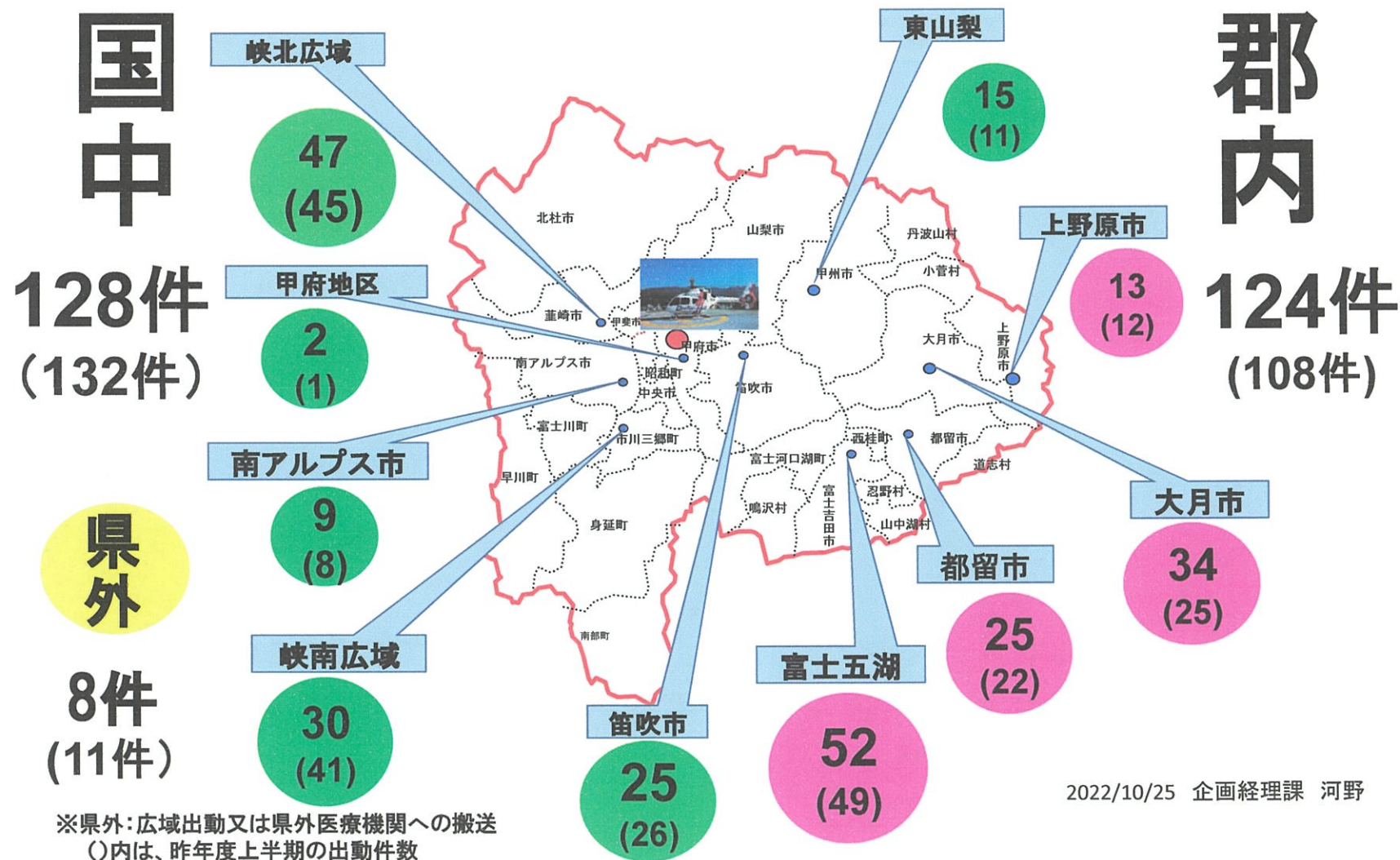
H22年度・H23年度・H24年度・H25年度・H26年度・H27年度・H28年度・H29年度・H30年度・R1年度・R2年度・R3年度・R4年度



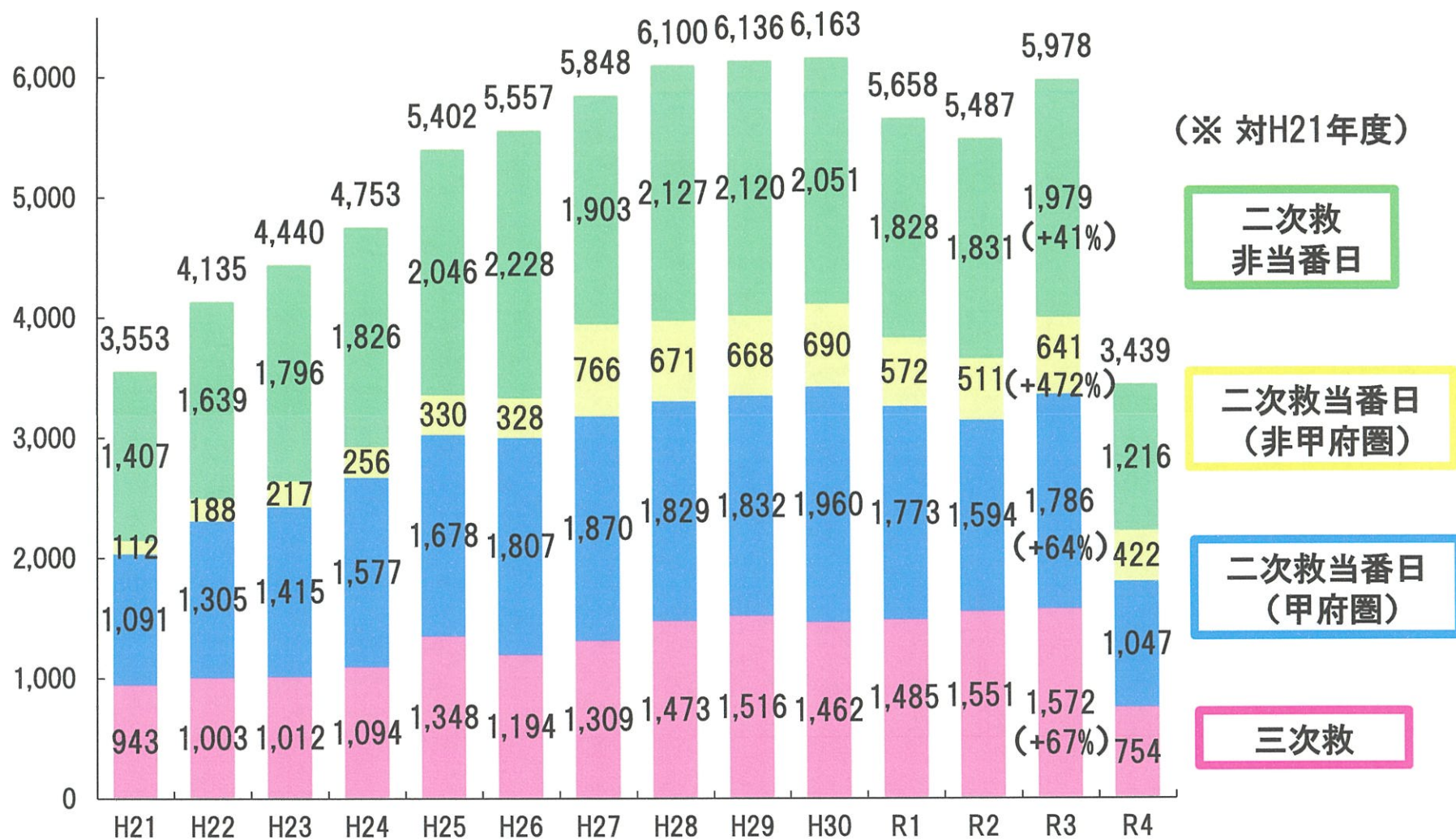
北病院 入院・外来稼働額増減



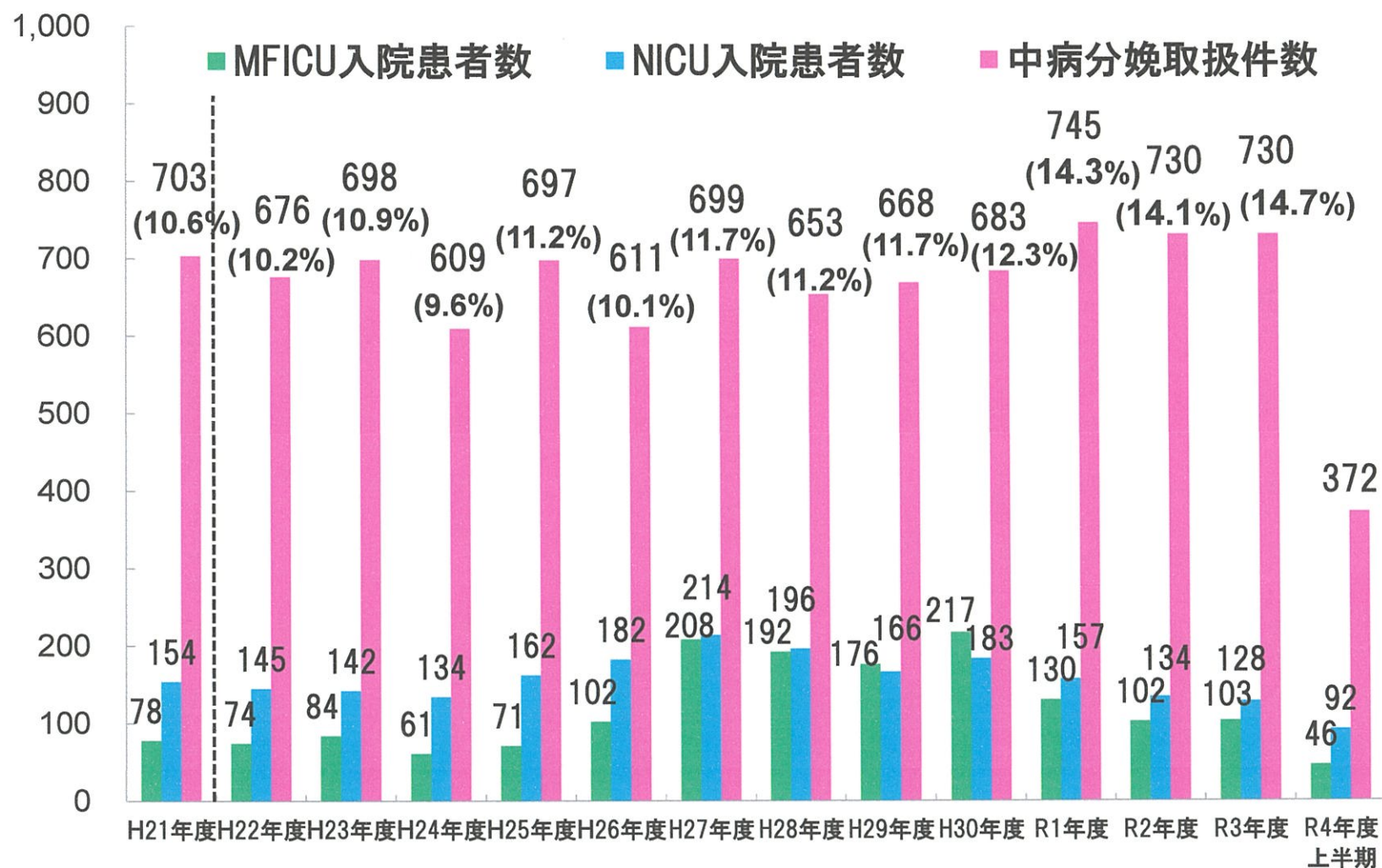
ドクターヘリ 出動 260件(R4年度上半期)



救急車搬送人数(H21~R4年度上半期)



分娩取扱件数とMFICU及びNICU入院患者数



※(%)=当院分娩件数／県内出生数

2022/10/25 企画経理 河野

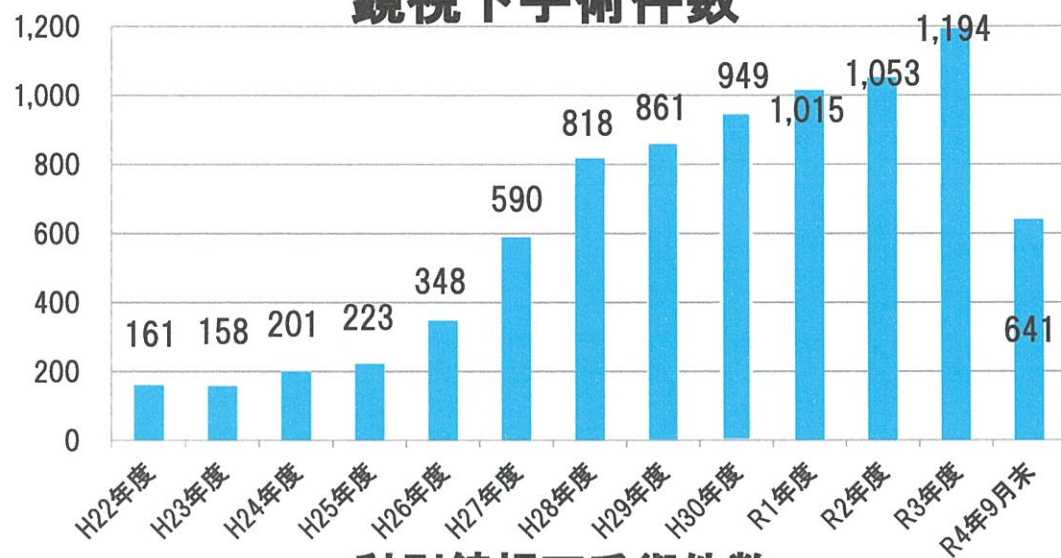
ダ・ヴィンチ Xi

平成28年3月27日 da Vinci Xi購入(甲信越地方初)
 6月14日 前立腺癌初症例泌尿器科横山副部長
 6月21日 初症例患者退院
 8月 9日 腎臓癌初症例 泌尿器科横山副部長
 8月18日 子宮頸癌初症例(Xiでは日本初)
 令和元年上半期 子宮体癌(良悪性)手術件数 日本第2位

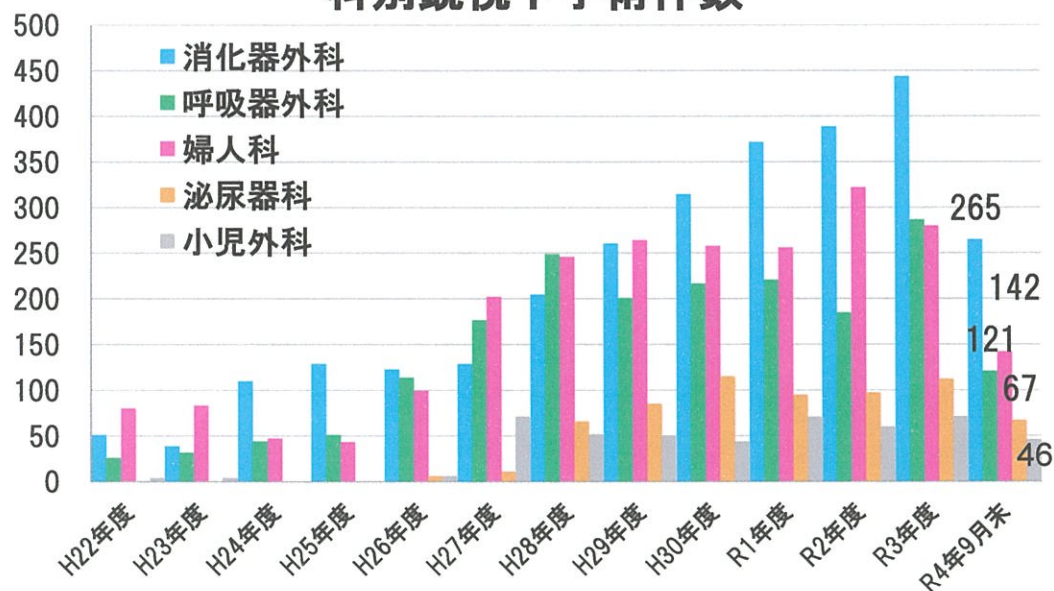


	前立腺がん	腎臓がん	子宮がん等	胃・食道・大腸	縦隔腫瘍等	合計
平成28年度	23症例	5症例	8症例	—	—	36症例
平成29年度	39症例	15症例	2症例	—	—	56症例
平成30年度	58症例	14症例	55症例	24症例	—	151症例
令和元年度	53症例	11症例	107症例	50症例	10症例	231症例
令和2年度	49症例	12症例	172症例	90症例	10症例	333症例
令和3年度	55症例	13症例	205症例	56症例	5症例	334症例
令和4年度 上半期	37症例	7症例	100症例	49症例	1症例	194症例

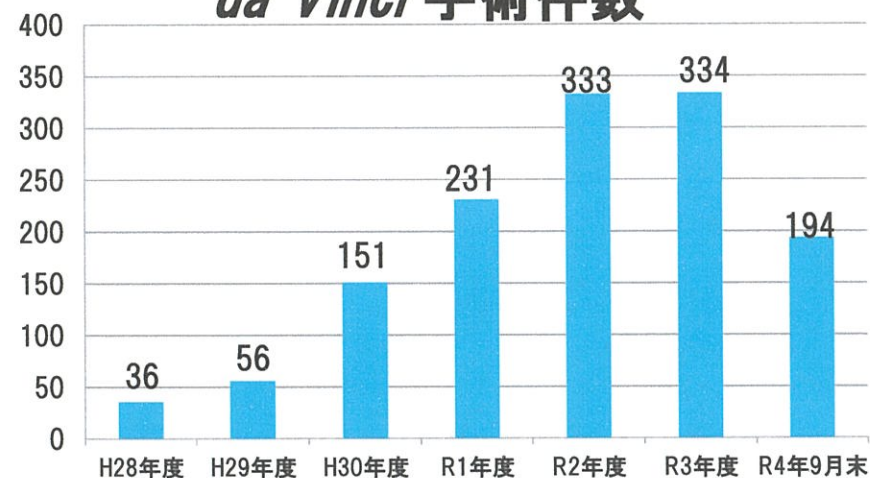
鏡視下手術件数



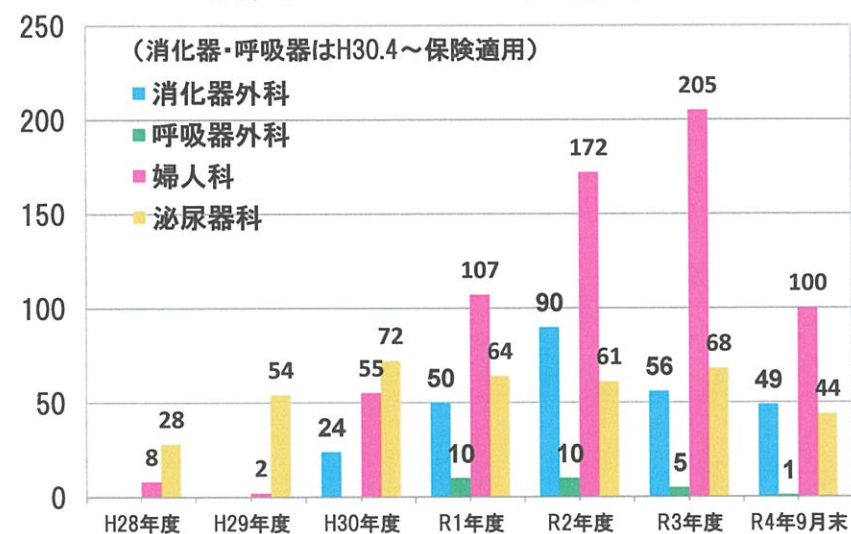
科別鏡視下手術件数



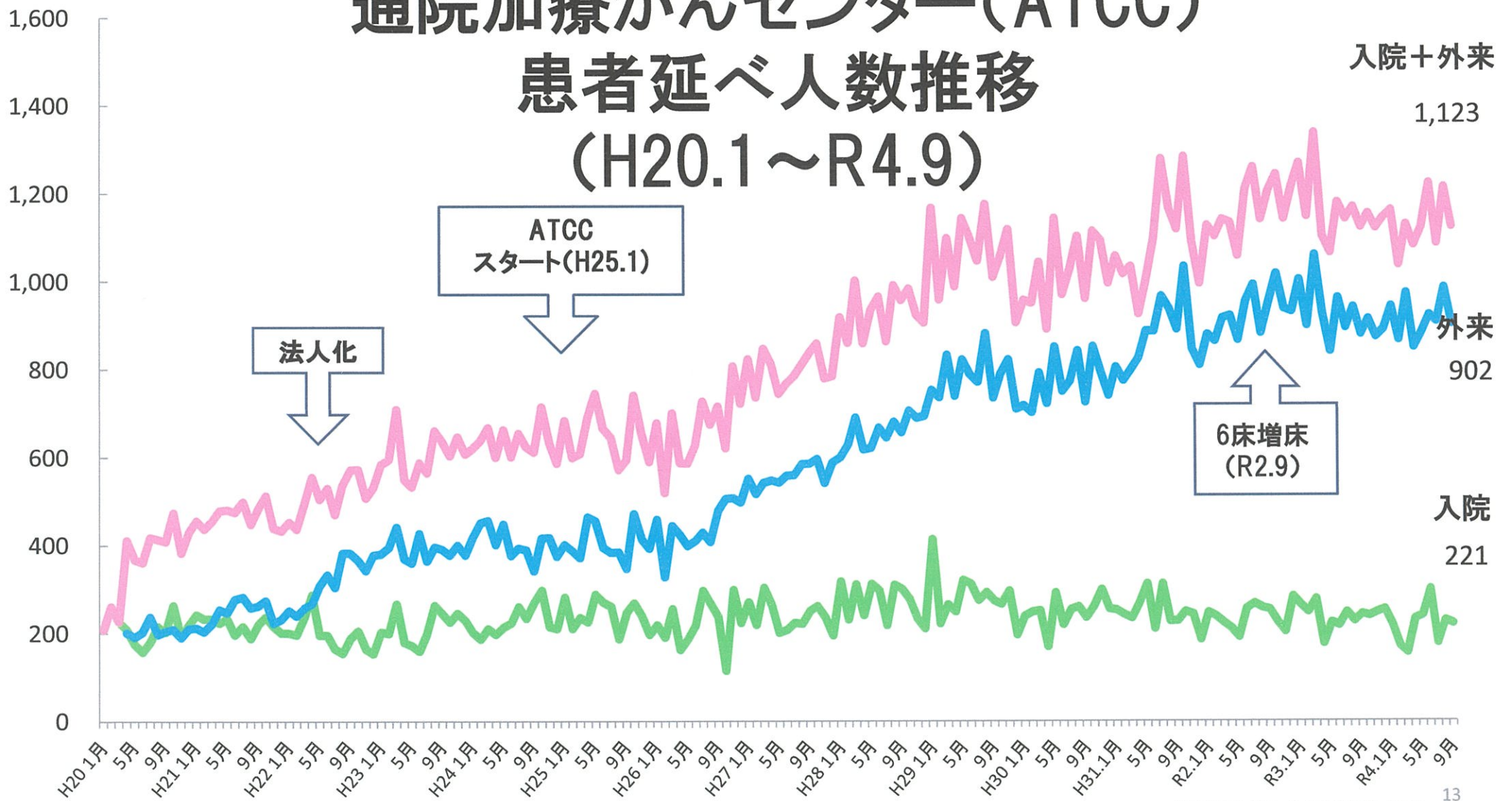
da Vinci手術件数



科別da Vinci手術件数

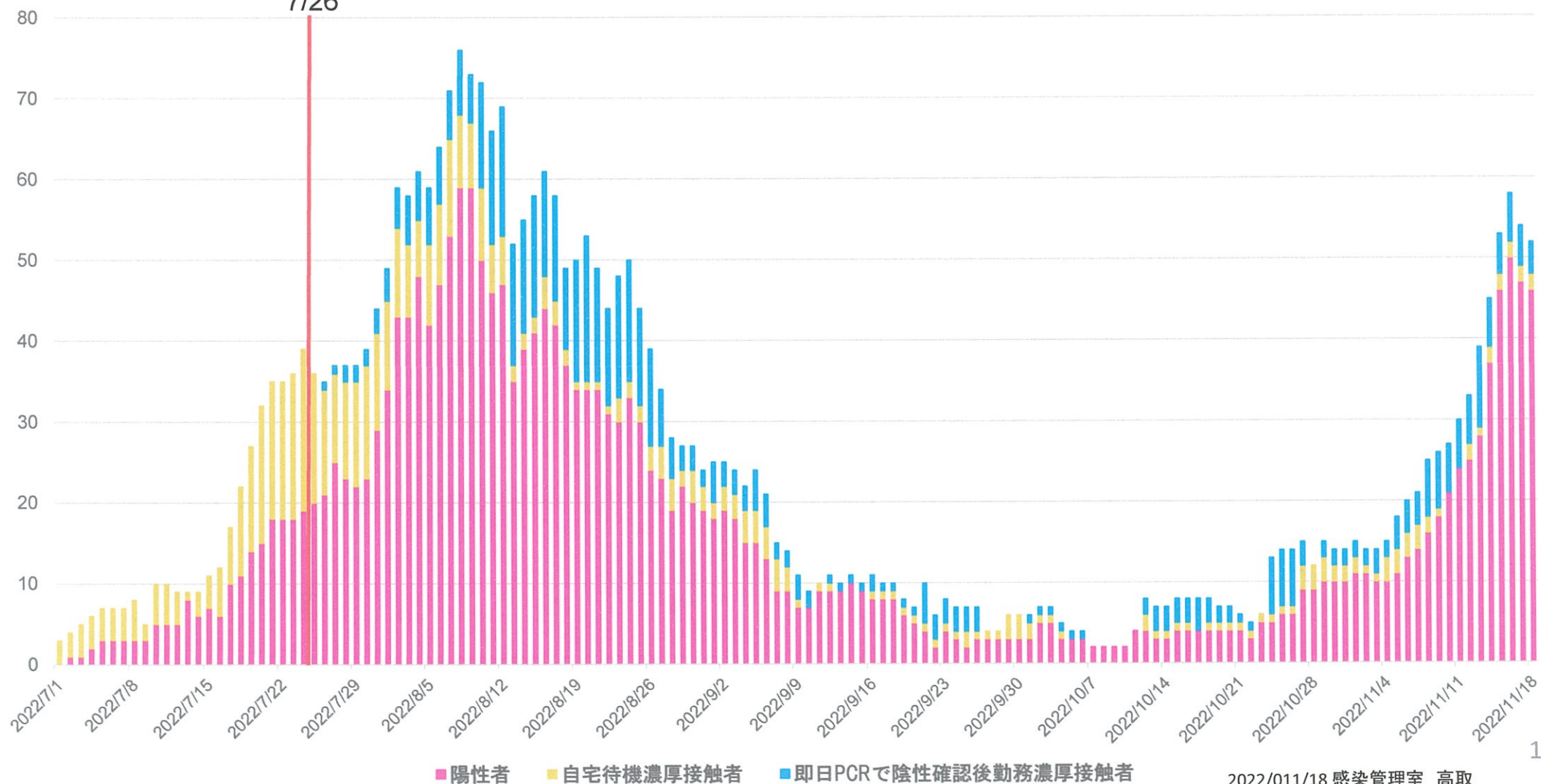


通院加療がんセンター(ATCC) 患者延べ人数推移 (H20.1~R4.9)

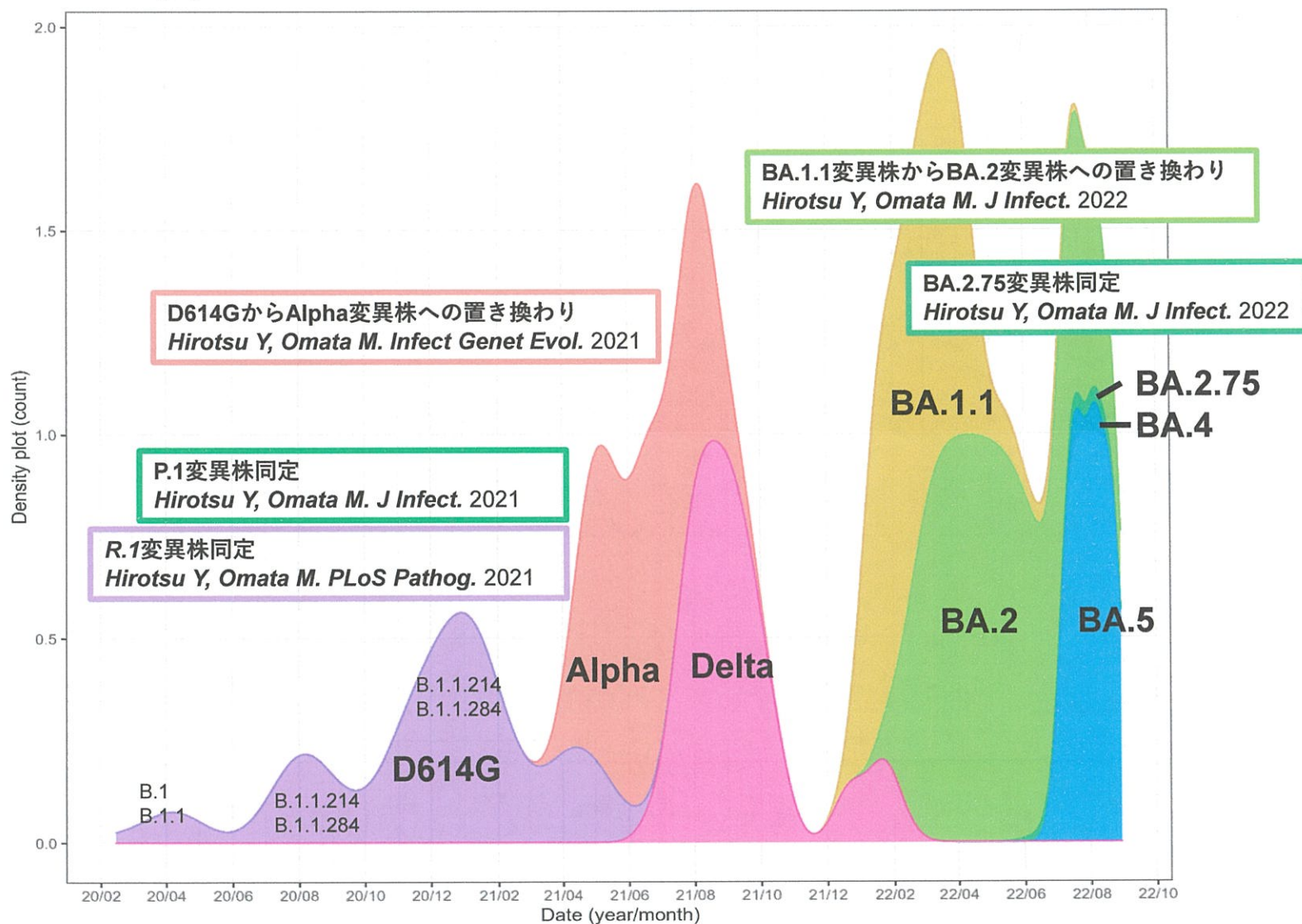


COVID-19 職員陽性者・濃厚接触者数推移

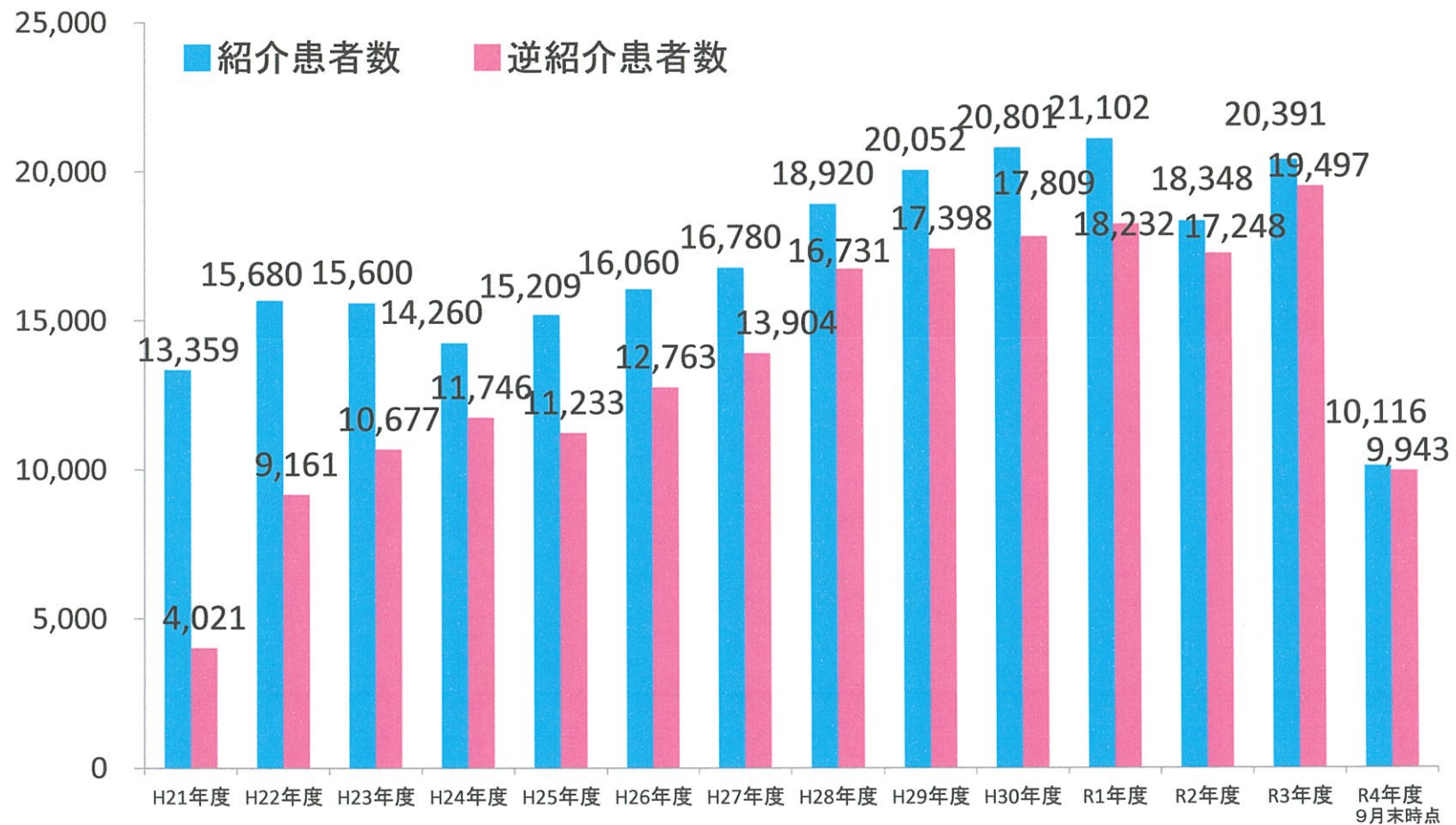
7/26



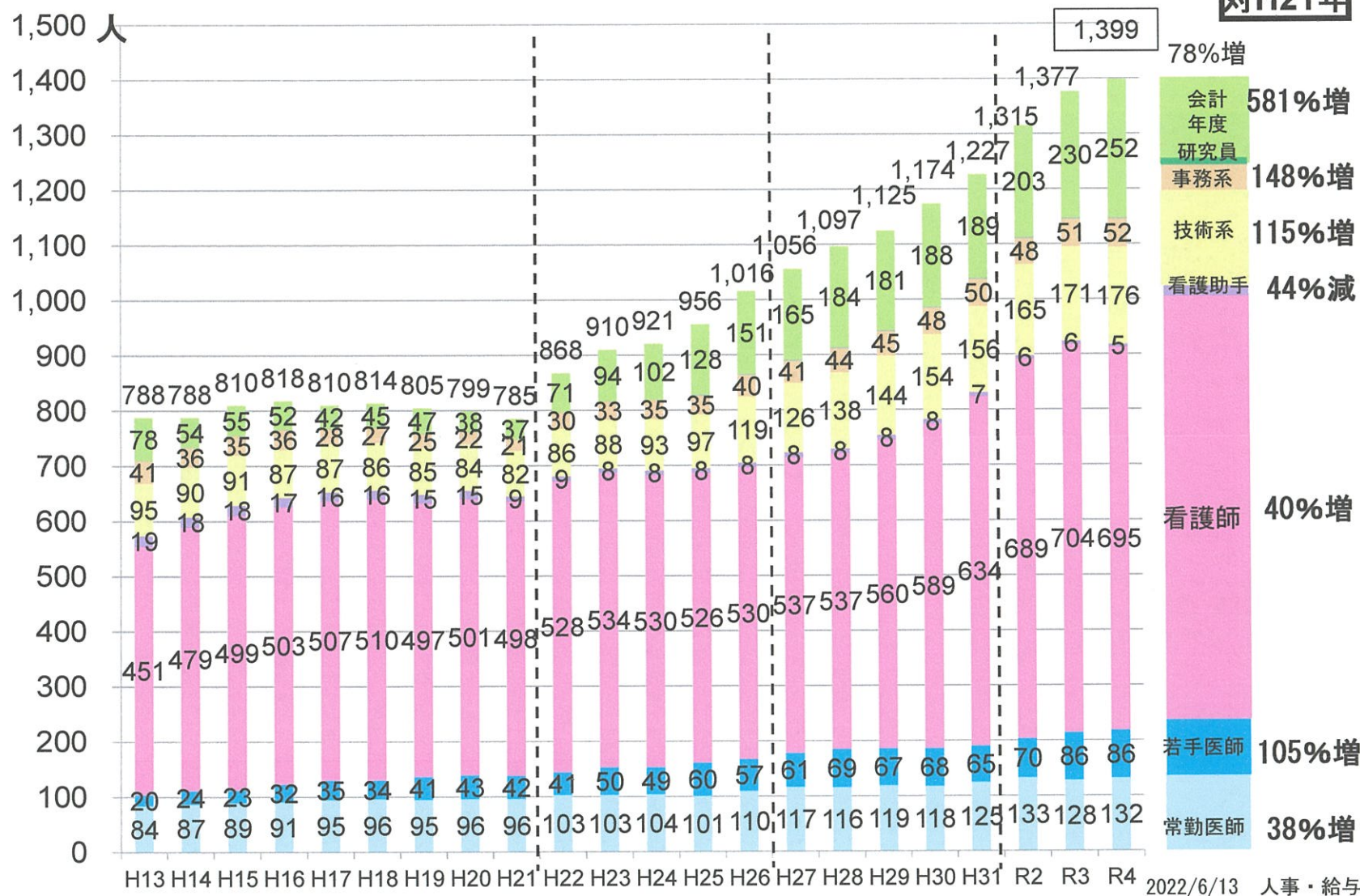
新型コロナウイルス変異株の変遷



全紹介患者数・逆紹介患者数推移 (H21年度～R4年度9月末時点)



中央病院職員数（H13-R4 各年度期首）



都道府県立精神科病院の平均在院日数

全国 6位

(単位: 日)

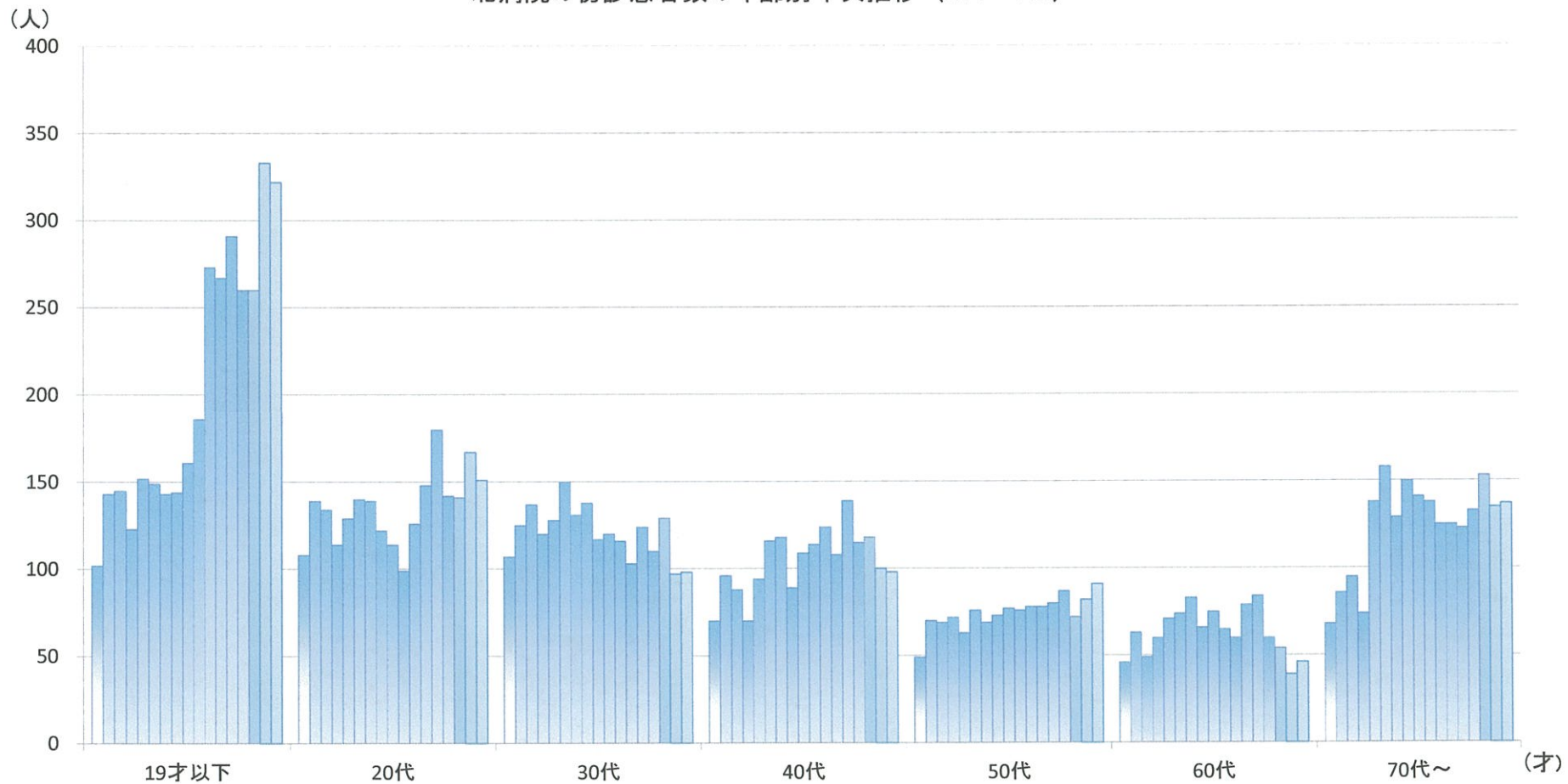
30年度	29年度	医療機関名	H30年度	H29年度
1	1	千葉県立 精神科医療センター	40.3	40.2
2	3	岡山県立 精神科医療センター	56.9	60.5
3	2	北海道立 緑ヶ丘病院	61.5	60.0
4	7	東京都立 松沢病院	66.6	75.9
5	4	長野県立 こころの医療センター駒ヶ根	69.0	67.6
6	5	山梨県立 北病院	72.2	73.0
7	8	京都府立 洛南病院	73.9	75.9
8	6	兵庫県 ひょうごこころの医療センター	74.4	75.2
9	9	埼玉県立 精神医療センター	89.7	81.7
10	10	秋田県立 リハビリテーション・精神医療センター	90.1	89.5
11	12	神奈川県立 精神医療センター	92.7	98.6
12	11	茨城県立 こころの医療センター	95.0	92.5
13	13	愛知県 精神医療センター	95.5	105.2
14	14	滋賀県立 精神医療センター	100.6	106.6
15	16	栃木県立 岡本台病院	114.3	117.4
16	17	群馬県立 精神医療センター	116.4	118.1
17	21	山形県立 こころの医療センター	117.4	136.0
18	15	静岡県立 こころの医療センター	119.3	116.3
19	18	長崎県 精神医療センター	119.5	123.4
20	20	福岡県立 精神医療センター太宰府病院	120.8	134.0

※当該表は令和元年度全国自治体病院協議会総会・研修会の資料として作成されたものであり、以降は作成されていない。

(参考)北病院の令和3年度平均在院日数:60.9日

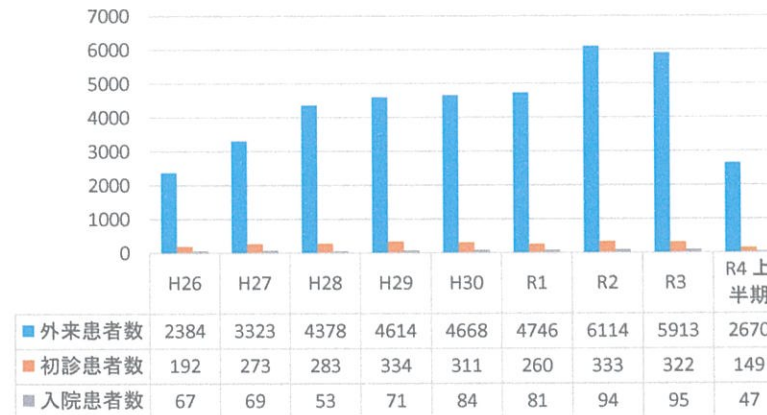
(総務医事課 窪沢)

北病院の初診患者数の年齢別年次推移（H17～R3）



県内唯一の児童・思春期病棟

- ・性教育実施
自分の身を守る
性被害者・加害者の防止
- ・子育て相談会(入院・外来)
ゲーム依存相談対応 (1回/月)
- ・家族支援プログラム
(4回シリーズ1セット/3~4回/年)
DVD視聴後、フォローアップ1回
(オンライン開催)
- ・入院後発覚する虐待ケース
の増加
一人ひとりに丁寧な情緒的介入
安心できる退院先の選定
患者・家族への関わり



思春期プログラム

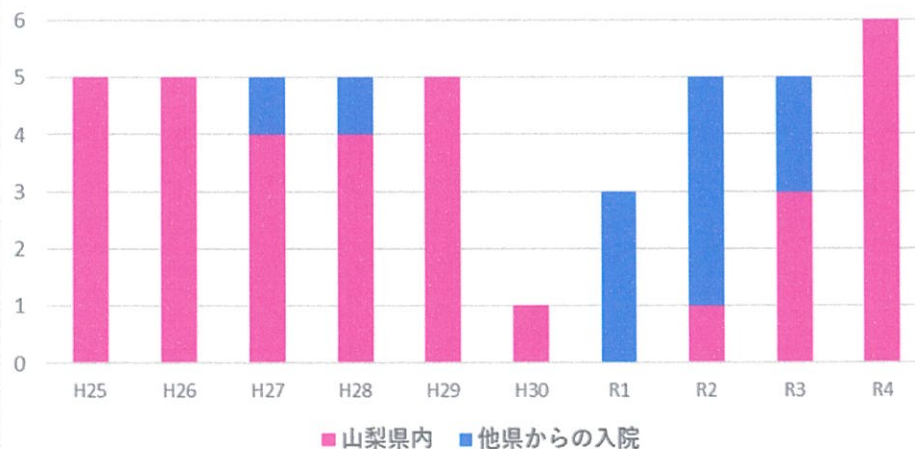
	月	火	水	木	金	土
午前	音楽療法	心理教育	ヨガ教室	思春期活動	社会生活スキル	
午後	学習ボランティア 集団精神療法	スマイル教室	ネット・ゲームリテラシーグループミーティング	子育て相談会 目的別 OT	家族支援プログラム	学習ボランティア

県内唯一の指定入院医療機関

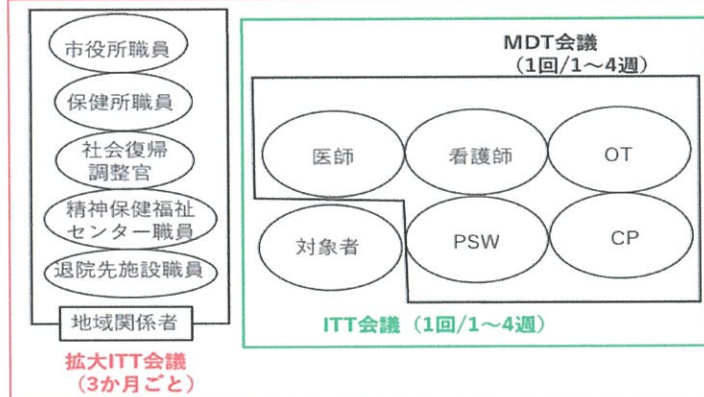
ロードマップ

		急性期・3か月	回復期・9か月	社会復帰期・6か月
ステージ		・急性症状・亜急性症状の改善 ・健康で安全な生活への動機づけ	・基本的な判断能力の回復と病棟生活への適応 ・病気と対象行為についての理解	・退院に向けた病状の安定と生活能力の回復 ・退院後の生活準備、外出泊の体験
各職種プログラム	医師	内服調整	服薬自己管理検討	内服自己管理
	看護師	生活支援、各種管理支援、モニタリング、看護面接		
	OT	認知機能リハビリテーション、心理教育、SST、MCT、SCIT、面接	就労準備プログラム	
	CP	個別内省プログラム、集団内省プログラム、心理面接		
	PSW	社会復帰講座・権利擁護講座、外出泊の地域調整・地域との情報共有		

北病院医療観察法病棟 入院数 (H25～R4)



※各年度における9月30日時点の入院数を表示



◇平成22年7月開設

◆救急急性期病棟に併設

◇平均入院日数: 524.17日 (2022.9.30現在)

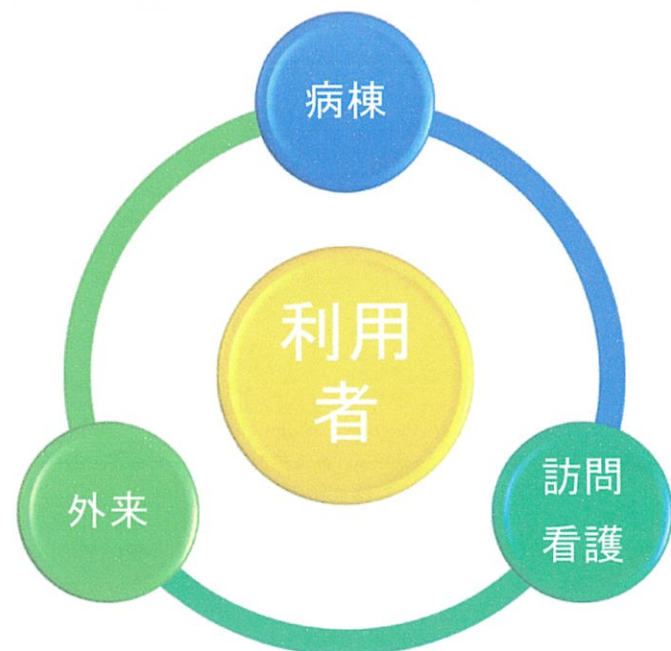
2022/11/1

医局: 藤井 看護部: 澤登

訪問ステーション上期実施状況

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
訪問実施研修	1449	1409	1354	1472	1652
訪問収益	13,551,000	21,641,980	20,233,380	22,547,420	25,034,680

訪問看護ステーション開設により独自の管理療養費が加算され収入の増加に貢献した

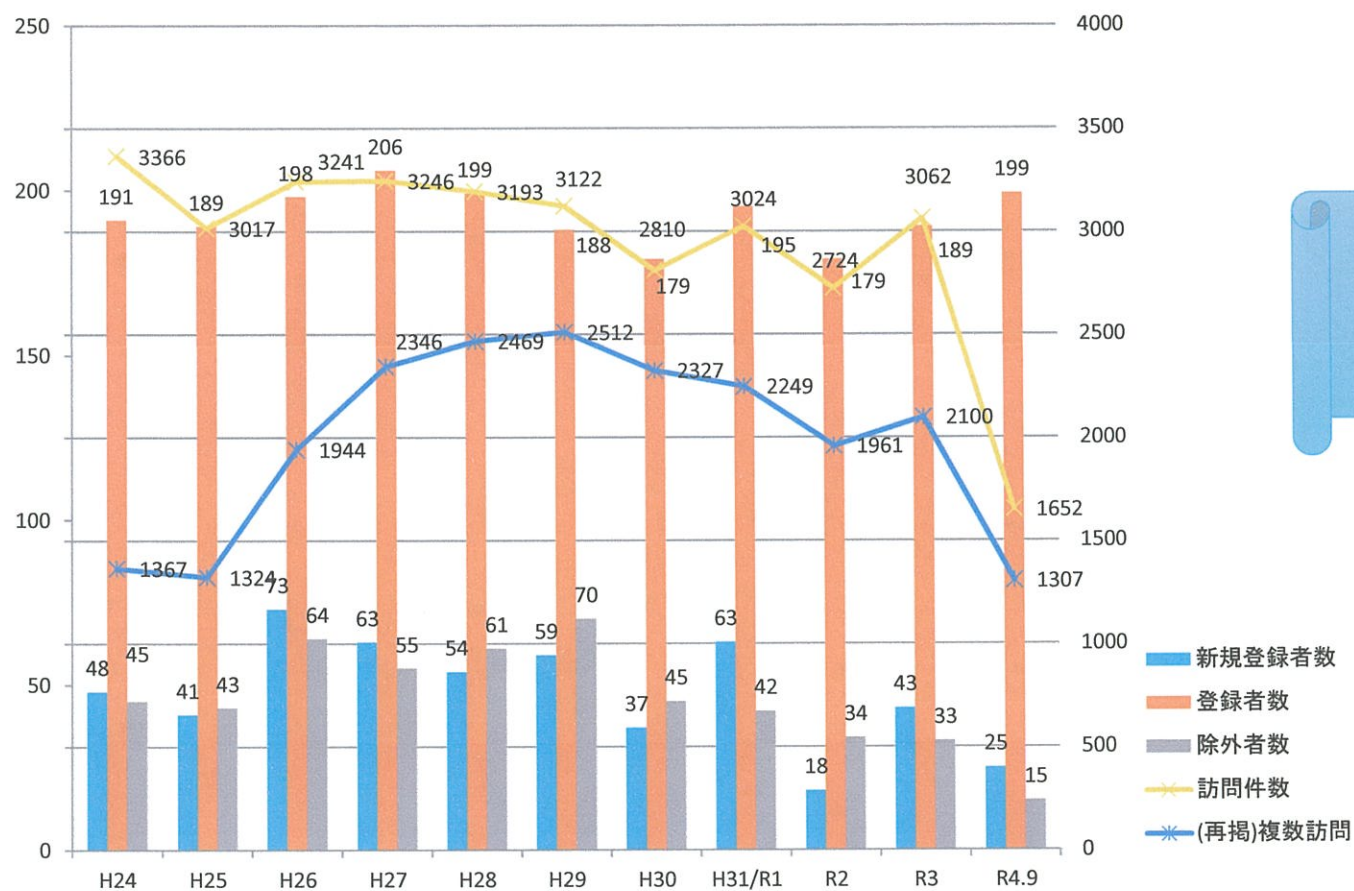


病院との連携強化

- ・退院前カンファレンスへの参加
- ・病棟・外来・訪問看護ステーションの連携
- ・クライシスプランを活用し悪化の早期発見

その人らしい安定した地域定着、再発・再入院の防止を目標に支援

訪問ステーション実施状況



地域包括ケアに伴う需要の拡大
新規登録者数の増加

2022/11/1

訪問看護ステーション 猪又 23

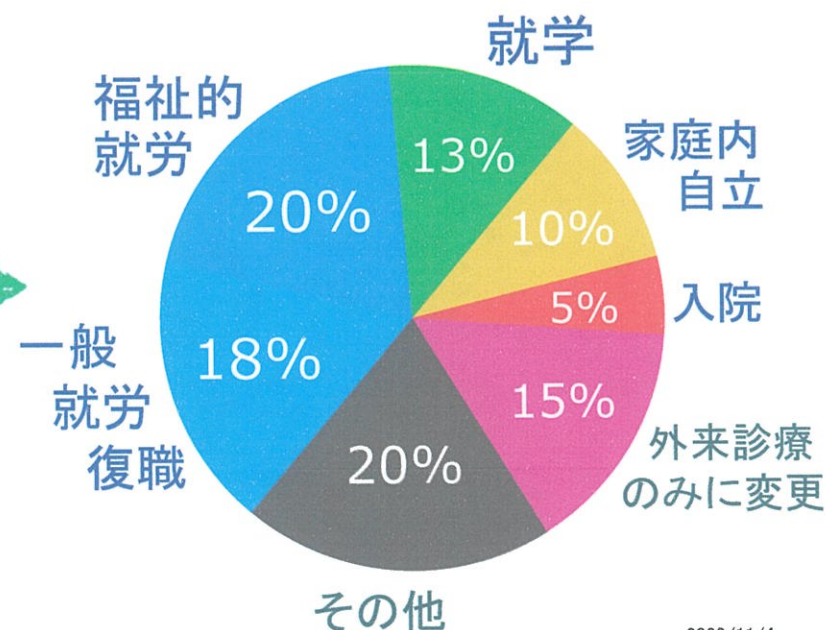
精神科デイケア 通院リハビリテーション部門

今年度上期、デイケア利用終了者の
50% が就労、就学等へステップアップ

	R2年 上期	R3年 上期	R4年 上期
新規登録	38	69	56
登録終了	52	55	40

より医療的な内容の、多機能小グループプログラムを中心に実施することにより、社会参加等、地域移行を推進している。

利用終了時の目標達成状況



北病院職員数（H13-R4 各年度期首）

